製剤機器

問 173 (国家試験問題) CHFCK! □□□

空気で吹き上げた原料粉体に結合剤溶液を噴霧して造粒する方法はどれか。1つ選べ。

- 1 噴霧乾燥造粒法
- 2 撹拌造粒法
- 3 流動層造粒法

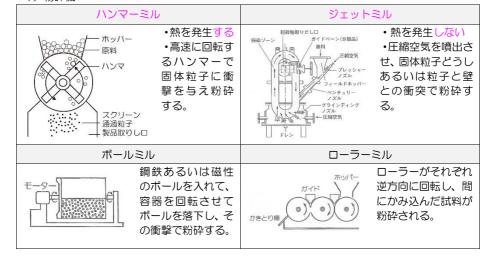
- 4 押出し造粒法
- 5 乾式造粒法
- 1 ×: 噴霧乾燥造粒法は、医薬品粉末を油脂類などの添加物と混合した後、一定の孔径のノ ズルから吹き出し、乾燥して造粒物を得る方法である。
- 2 ×: 撹拌造粒法は、減圧したチャンバー内で粉末を撹拌しながら結合剤溶液を加えて造粒 する方法である。
- 3 : 流動層造粒法は、多量の空気で吹き上げた原料粉体に結合剤溶液を噴霧して造粒する 装置であり、混合、造粒、乾燥を同一装置内で連続的に行うことが可能である。
- 4 ×:押出し造粒法は、原料医薬品と添加剤を混合した後、結合剤溶液を加えて練合し、一 定の孔径から湿潤塊を押出して成型する方法である。
- 5 ×: 乾式造粒法は、水や熱に不安定な医薬品の場合、ローラー等でペレットに成型した後、 粉砕機で粒状として整粒する方法である。

解答 3

これだけは!おさえておくポイント 🇞

<固形製剤の製造>

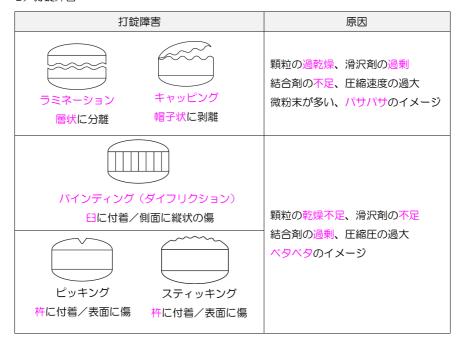
1) 粉砕機



2) 造粒機

押出し造粒	原料医薬品と添加剤を混合した後、結合剤溶液を加えて練合し、パンチン
	グメタル(スクリーン)などの一定の孔径から湿潤塊を押出して成型する。
	円柱状の形状となるが、整粒により球形化することも可能である。
撹拌造粒	粉末を撹拌して混合した後、液体の結合剤を添加し、粉体が液にぬれ始め
	ると徐々に造粒が始まる。撹拌羽根による湿潤塊の形成と解砕羽根による
	解砕によって、重質で球状の顆粒が得られる。
転動造粒	遠心力と重力を巧みに利用して、粉末を転動させる方法である。転動して
	いる粉末に結合剤溶液を噴霧して粉末を付着・凝集させて造粒する。軽質
	で球状の顆粒が得られ粒度分布の均一な球形顆粒の製造に適している。
流動層	多量の空気で吹き上げた原料粉末に結合剤溶液を噴霧して造粒する装置で
造粒	あり、混合・造粒・乾燥を同一装置内で連続的に行うことが可能である。
噴霧乾燥	医薬品粉末を油脂類などの添加剤と混合した後、一定の孔径のノズルから
造粒	吹き出し、冷却または乾燥で造粒物を得る手法である。
破砕造粒	乾式造粒のプロセスである。粉体原料を圧密化し、得られた塊状の成形物
	を破砕し造粒する方法である。造粒物は不定形である。

3) 打錠障害



■■■ 関連問題 ■■■

	■■■ 因任问题 ■■■	
問 174(オリジナル問題)CHECK!ロロロ	
粉砕だけでなく乳化にも使用できるのはどれか。1つ選べ。		
1 🗆	ノイドミル	
2 ジェ	ットミル	
3 ハン	マーミル	
4 🗆 –	ラーミル	
5 ボー	・ルミル	
問 175(オリジナル問題)CHECK!ロロロ	
円柱状の顆	見粒が得られる造粒法はどれか。1つ選べ。	
1 流動	層造粒法	
2 噴霧	造粒法	
3 押出	けし造粒法	
4 撹拌	造粒法	
5 転動	造粒法	
問 176(オリジナル問題)CHECK!ロロロ	
杵面に錠剤	Jが付着して、錠剤の一部が剥がれる打錠障害はどれか。 1 つ選べ。	
1 ダイ	フリクション	
2 ラミ	ネーション	
3 ステ	・ィッキング	

5 キャッピング

4 バインディング

[MEMO]

■■■ 解答 ■■■

問 174 解答:1

医薬品の製造におけるジェットミル、ハンマーミル、ローラーミル、ボールミルは粉砕機である。またコロイドミルは粉砕だけでなく乳化にも使用することができる。

問 175 解答:3

- 1 ×:流動層造粒法、破砕造粒法では、外観が不定形の顆粒を得ることができる。
- 2 ×: 噴霧造粒法、転動造粒法では、球形に近い顆粒を得ることができる。
- 3 ○:押出し造粒法では、円柱状の顆粒を得ることができる。
- 4 ×: 撹拌造粒法では、重質で球状の顆粒を得ることができる。
- 5 ×:解説2参照。

.....

問 176 解答:3

- 1 ×:ダイフリクション(バインディング)は、臼壁面での摩擦で錠剤側面にひっかき傷が 生じる現象である。
- 2 ×: ラミネーションは、錠剤の中間部が側面から層状に剥離する現象である。
- 3 ○:スティッキングは、杵面に錠剤が付着して、錠剤の一部が剥がれる現象である。
- 4 X:解説 1 参照。
- 5 ×:錠剤の上下側が帽子状に剥がれる現象である。

[MEMO]